

広報 おまね

特集 新・子育て本拠地

急流だってへっちゃらだよ！

大江スポーツクラブ「O-STEP」のカヌー体験教室が、8月28日から4回にわたって開催されました。今年初めて開かれたこの教室には、O-STEP会員以外の方も含め10名が参加。9月11日にはテルメ柏陵健康温泉館下から旧最上橋まで、カヌーで最上川を下りました。途中の激しい流れもものともせず、参加者は川下りを存分に楽しんでいました。

平成28年

10

No.668

子育ての将来を見すえ 統合保育園へ

過疎化・核家族化の流れとともに、本町での出生数は徐々に減少しており、平成以降は特に少子化が進んでいます。人口の推移をみると、平成27年3月末現在、町内の0〜14歳の人口は937人ですが、平成33年の同じ時期には852人まで減ると推計され、少子化が今後さらに進行していくことが予想されています。

将来の町立保育園の望ましいあり方を検討するため、本町では町内の民間立保育園・幼稚園の代表者、保育園の保護者代表など、10名の外部検討委員による「町立保育園のあり方検討委員会」を平成24年6月に設置しました。検討を重ねた結果、少子化という避けて通れない課題がある中で、将来を考えた場合、統合はやむを得ないという結論に至りました。そして町立保育園を統合する場合、子育て環境の豊かさや町全体としての均衡ある発展を考慮して、現在のわかば保育園を統合保育園とすることが望ましいという報告をまとめました。

この結果を受けて、町では平成30年4月開園を目標に、わかば保育園

を増築・改修した統合保育園を整備することを決定し、昨年7月に保護者を対象とした説明会を開催。その後におこなったアンケート結果なども考慮して整備計画をまとめ、平成27年9月議会で行政報告をおこないました。

統合保育園の整備にあたっては、子どもの健やかな成長のために「五感」をしっかり伸ばし、誰もが楽しめる保育園をテーマに、構想が練られました。自然豊かな環境の中で、太陽光を取り入れた明るい空間を形づくり、子どもたちが土に触れ、水に親しみ、体を動かしてのびのびと遊べる保育園。そして地域の方々とふれあいを通して、さまざまな体験ができるような保育園を目指し、新しい保育園が設計されました。

開放感あふれる 子育ての新拠点

2つの町立保育園を統合した新しい保育園を整備するにあたり、現在のわかば保育園の園庭に新しい建物を増築する予定です。そして園の行事などをおこなう「わいわい広場」を設け、広場を囲むように現在の園舎と増築部分とを配置することで、

新・子育て本拠地

～統合保育園～

子どもたちの健やかな成長のために、欠かせない存在である保育所。少子化などの影響で、町立保育園の現体制の継続が難しくなっている一方、保育に対するニーズは多様化し、きめ細やかな保育サービスの提供が望まれています。

こうした中、現在の2つの町立保育園を統合し、わかば保育園を増改築した「統合保育園」の設置が検討され、平成30年4月の開園に向けて、本格的に整備が始まろうとしています。現在予定されている統合保育園の内容と、本郷地区に新設される放課後児童クラブについてお伝えします。



統合保育園の完成予想図

建物全体に一体感のある保育園ができあがります。

増築される棟のうち、南側は新しい子育て支援センターとなり、中央部は広々とした遊戯室、東側は4歳児と5歳児の保育室などが設けられます。増築にあたっては町産の西山杉を多く使用し、木目の美しさを利用した温かみのある内装に。壁をよじ登って遊べるクライミングウォールなど、子どもたちの興味を引くような設備や遊具を用意し、楽しく遊べる工夫を随所に取り入れます。

また、建物の内側には一続きのテラスが設けられ、外側もテラスや窓から自然光が差し込むようにすることで、明るく開放感に満ちた空間となります。

保育園統合によって児童数が増加することから、現在の園舎については、調理室などを拡張する改修工事がおこなわれます。また近年、満0〜1歳の低年齢児の保育のニーズが高まっており、保育所への入所率も高い傾向にあります。

このことから、低年齢児の受け入れに対応するため、現在のわかば保育園の乳児室を改修し、より広い保育室として整備する予定です。さらに、園児たちの送迎がよりスムーズ

にできるよう、玄関前には一時停車場とロータリーが設けられます。

そして、園舎の南側の農地についても新たに保育園の敷地として取得し、子どもたちが思いきり体を動かして遊べる「つどいの広場」、山や池複合遊具などを設置した「冒険の森」が作られる予定です。整備にかかる費用は、総額で約6億円を見込んでいます。

生まれ変わる 子育て支援センター

統合保育園整備のための増改築計画の中で、最も大きく変わるのが子育て支援センターです。現在はおおむね保育園内の一室で運営されていたため、毎月の催しなどの参加定員も限られています。統合保育園完成後は新たに増築される建物に移転し、より広く、より充実した支援センターに生まれ変わることとなります。新しいセンターの中で一番大きな部屋となるのが「わんぱくホール」。大型遊具を設置し、広い空間で子どもたちがのびのびと遊ぶことができます。その外側にある広々とした「おひさまテラス」に出れば、太陽の下で気持ち良く遊べるようになります。



また、「ちびっこひろば」「あかちゃんひろば」には安全に遊べる遊具が置かれるので、小さいお子さんをお持ちの方でも安心して利用できます。このほか、センター内の一角には相談室が設けられ、子育てに関する悩みをスタッフに気軽に相談し、的確なアドバイスを受けることができます。ようになります。

統合保育園開園までのスケジュール（予定）

- 〔平成28年〕
 - 11月 増築部分の建築工事開始
 - 4月 園庭造成工事開始
- 〔平成29年〕
 - 8月 園庭工事開始
 - 10月 園舎改修工事開始
 - 11月 増築部分の完成
わかば保育園、増築部分へ移動
 - 12月 園庭工事完了
- 〔平成30年〕
 - 2月 園舎改修工事完了
 - 3月 さくら保育園、統合保育園へ移動
 - 4月 統合保育園開園

統合保育園開設に向けて今後の動き

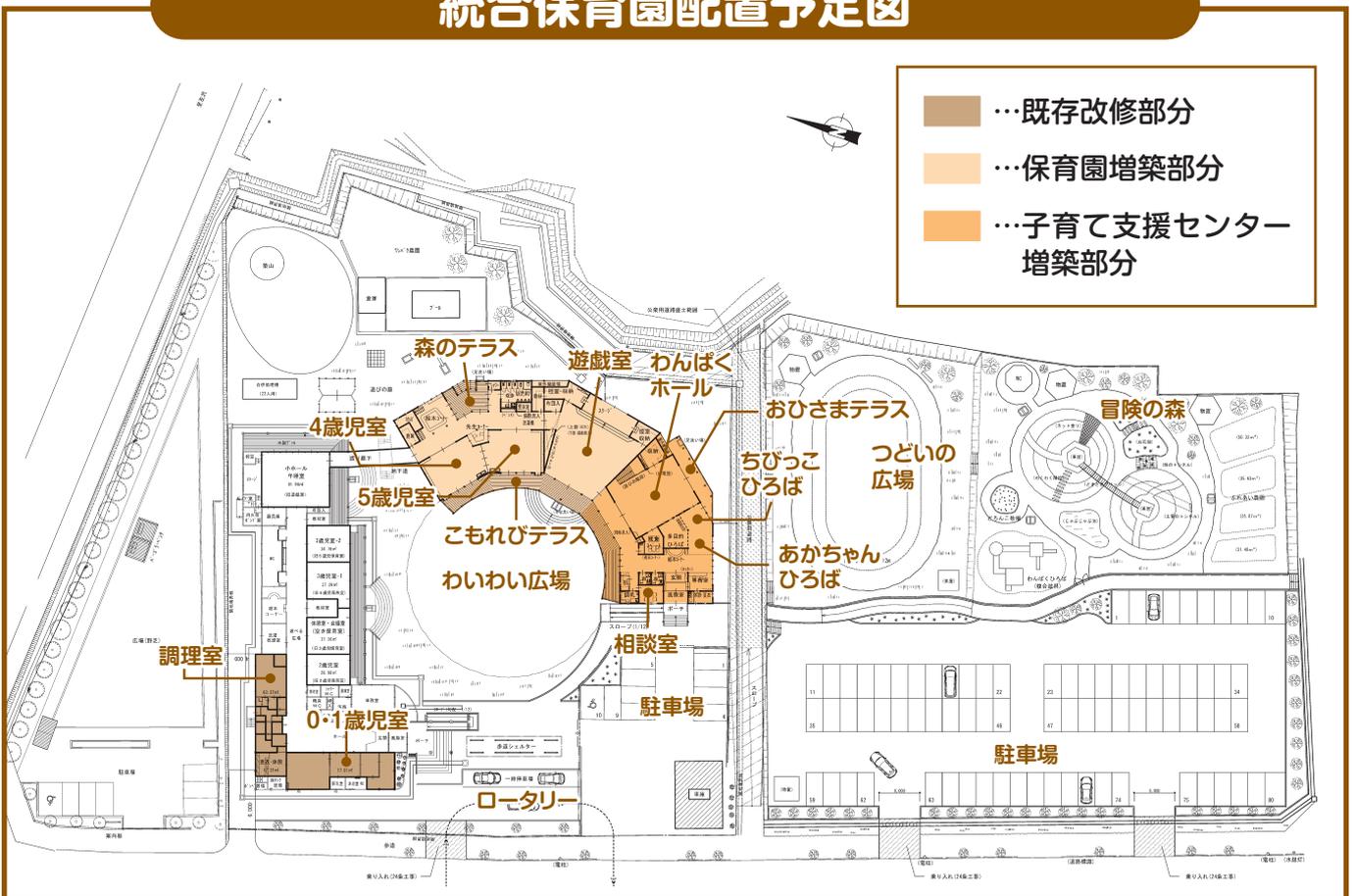
平成30年4月に開園する予定の統合保育園。今年の9月議会において、増築部分の建設にかかる今年度の補正予算が可決され、11月から増築部分の建築工事が開始される予定です。

増築工事は来年11月に完了し、現在のわかば保育園は完成した増築部分に移動して運営を継続します。その後、既存部分の園舎を改修する工事がおこなわれますが、この工事期間中も引き続き給食を提供できるようにし、保護者の方々にとって負担にならないような体制を維持していきます。

さくら保育園の統合保育園への移動については、来年末から準備を始め、平成30年2月に予定されている改修工事の終了後、完成した園舎へと移動。3月中に開設準備を整え、いよいよ統合保育園の開園を迎えることとなります。

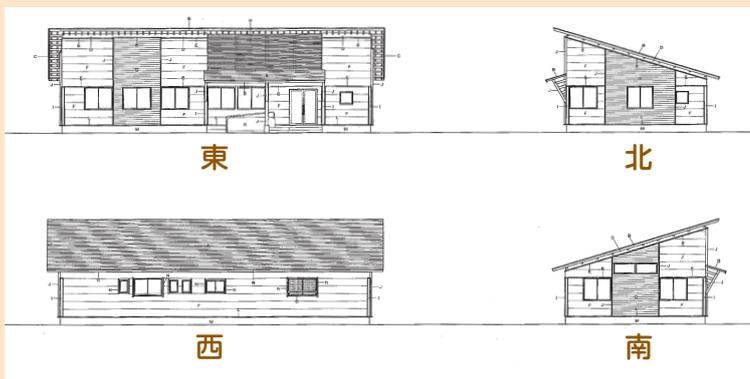
統合保育園の定員は、130〜140人となる予定です。さらなる保育サービスの充実を目指して、今後も新しい保育園の運営体制を検討していきます。

統合保育園配置予定図



新・放課後児童クラブ完成予定図

平面図



立面図

本郷地区に新設 放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学生のために、授業終了後の遊びや生活の場として提供される施設です。

現在の放課後児童クラブは藤田区内にあり、社会福祉法人あゆみ会によって運営されています。定員は45人で、対象は小学校1年生から3年生です。すべての学区の児童が利用できますが、利用人数の制限や、本郷東小学校からの距離が遠いことなどの課題がありました。そこで、本郷東小学校学区に新たに放課後児童クラブを開設することが決定し、整備が進められています。

新しい放課後児童クラブは、定員が40人。これまで対象とならなかった4年生から6年生の児童も利用することができそうです。また、本郷東小学校に隣接しているため送迎も安全で便利になり、保護者の負担も軽減されます。

建物は木造平屋建てで、柱や床には町産の西山杉を多く使い、木の温もりが感じられる造りとなります。また、照明カバーには青芋入り和紙張りを使用するなど、町の独自の雰囲気を出せるような工夫が凝らされています。

特徴は、子どもたちが学習したり

遊んだりするための部屋である、学童スペースと畳コーナー。合わせて約70平方メートルというスペースで、のびのびと過ごすことができます。また、内部は天井を張らずに屋根裏が見えるような構造とし、空間が広く感じられる開放的な内部に仕上がります。

現在は建設地の造成工事が終了しており、建物の新築工事に着手しています。今年度中には工事が完了し、来年4月からの開所を予定しています。



▲放課後児童クラブの建設予定地

●●各会計の決算状況●●

平成27年度

決算報告

平成27年度の一般会計と各特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。一般会計と7つの特別会計の総額は、歳入が88億604万432円、歳出が84億4072万9378円となりました。その概要をお知らせします。

一般会計

歳入総額		61億7,087万円		歳出総額		58億7,947万円	
町税	7億6,981万円	議会費	9,228万円	総務費	11億1,167万円	民生費	11億2,887万円
町税の内訳		衛生費	2億2,245万円	労働費	901万円	農林水産業費	3億9,788万円
固定資産税	3億5,006万円	農工商費	1億3,351万円	土木費	7億3,950万円	消防費	1億7,852万円
町民税	3億3,194万円	教育費	11億8,930万円	災害復旧費	1億9,855万円	公債費	4億4,984万円
町たばこ税	4,588万円	諸支出金	2,809万円				
軽自動車税	2,359万円						
都市計画税	1,788万円						
入湯税	46万円						
地方譲与税	6,114万円						
利子割交付金	150万円						
配当割交付金	270万円						
株式等譲渡所得割交付金	220万円						
地方消費税交付金	1億5,207万円						
自動車取得税交付金	1,091万円						
地方特例交付金	331万円						
地方交付税	23億6,824万円						
交通安全対策特別交付金	112万円						
分担金及び負担金	415万円						
使用料及び手数料	7,978万円						
国庫支出金	6億4,626万円						
県支出金	4億3,512万円						
財産収入	1,081万円						
寄付金	1,465万円						
繰入金	3億2,067万円						
繰越金	2億6,462万円						
諸収入	4,731万円						
町債	9億7,450万円						

町の財産状況

土地	1,451,141㎡
建物(延床面積)	57,161㎡
道路(町道)・橋りょうの延長	209,100m
車輛	81台
有価証券など	7,131万円
積立金(基金)	22億9,982万円
温泉権(4件)	3億4,693万円

※すべての会計の合計。車輛には除雪車や消防自動車、小型動力ポンプなども含まれます。

特別会計

歳入総額		26億8,954万円		歳出総額		25億6,124万円	
国民健康保険特別会計	10億387万円	国民健康保険特別会計	9億3,088万円	後期高齢者医療特別会計	9,137万円	介護保険特別会計	9億9,026万円
後期高齢者医療特別会計	9,313万円	住宅地造成事業特別会計	1億5,643万円	簡易水道事業特別会計	7,009万円	公共下水道事業特別会計	3億234万円
介護保険特別会計	10億2,042万円	農業集落排水事業特別会計	4,326万円	公共下水道事業特別会計	2億9,625万円	農業集落排水事業特別会計	4,170万円
住宅地造成事業特別会計	1億5,643万円						
簡易水道事業特別会計	7,009万円						
公共下水道事業特別会計	3億234万円						
農業集落排水事業特別会計	4,326万円						

水道事業会計

収入総額		3億2,085万円		支出総額		4億3,412万円	
収益的収入	2億4,843万円	収益的支出	2億4,756万円	資本的収入	7,242万円	資本的支出	1億8,656万円
資本的収入	7,242万円						

※資本的収支の不足額については、当年度消費税資本的収支調整額、過年度損益勘定留保資金、当年度損益勘定留保資金で補てん

一般会計の主な増減

単位：万円、%

歳入総額	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率	歳出総額 (性質別)	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率
	61億7,087	55億8,308	5億8,779	10.5		58億7,947	53億1,846	5億6,101	10.5
町税	7億6,981	7億8,036	△1,055	△1.4	普通建設事業費	15億2,335	9億379	6億1,956	68.6
地方交付税	23億6,824	23億1,920	4,904	2.1	人件費	8億7,606	8億6,919	687	0.8
国庫支出金	6億4,626	6億862	3,764	6.2	繰出金	5億8,900	5億6,525	2,375	4.2
県支出金	4億3,512	4億3,456	56	0.1	補助費等	5億4,156	4億7,562	6,594	13.9
繰入金	3億2,067	2億938	1億1,29	53.2	扶助費	4億9,258	4億9,784	△526	△1.1
町債	9億7,450	5億1,910	4億5,540	87.7	公債費	4億4,984	5億9,089	△1億4,105	△23.9

決算規模は、歳入が61億7,087万円（10.5%の増）、歳出は、58億7,947万円（10.5%の増）となりました。前年度比較では、歳入は町税が減少した一方で、繰入金や町債が増加したため、全体では増となっています。また、歳出は中央公民館改築事業や学校施設整備事業、町道改良事業などの普通建設事業費が大きく増加したことが要因となっています。

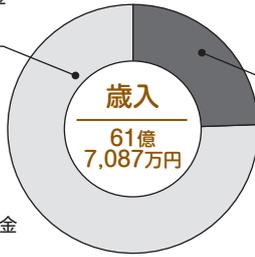
収支決算（一般会計）

依存財源

国・県から交付されたり、借入れられたりしたお金

75.5%

- 46億5,908万円
- 地方交付税
- 国庫支出金
- 町債●県支出金
- 地方譲与税
- 地方消費税交付金
- 自動車取得税交付金
- 地方特例交付金
- 地方特例交付金
- 利子割交付金
- 交通安全対策特別交付金
- 配当割交付金●株式譲渡所得割交付金



自主財源

町が自主的に収入できるお金

24.5%

- 15億1,179万円
- 町税●繰入金●繰越金
- 使用料及び手数料
- 諸収入●財産収入
- 寄付金
- 分担金及び負担金

その他の経費

39.3%

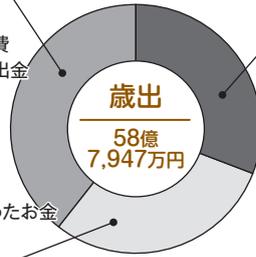
- 23億1,162万円
- 補助費等●物件費
- 維持補修費●繰出金
- 積立金●その他

義務的経費

支出が義務付けられているお金

31.0%

- 18億1,848万円
- 人件費
- 扶助費
- 公債費



投資的経費

建設工事などに使ったお金

29.7%

- 17億4,937万円
- 普通建設事業費●災害復旧事業費

主な財政指標の推移（一般会計決算に基づくもの）

区分	25年度	26年度	27年度
財政力指数	0.26	0.27	0.27
経常収支比率	85.1%	85.6%	78.8%
公債費負担比率	15.1%	14.8%	10.9%

一般会計の町債（借入金）残高の推移

単位：万円

区分	25年度末	26年度末	27年度末
発行（借入）額	4億3,560	5億1,910	9億7,450
元金償還（返済）額	5億7,431	5億4,110	4億699
年度末残高	46億5,330	46億3,129	51億9,881

※**財政力指数**とは、地方交付税法の規定により算定した基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3か年平均値です。自治体の財政力を示す指数として用いられ、数字が大きければ大きいほど財政的に豊かであるといえます。

※**経常収支比率**とは、町税や普通交付税などの使途を特定されない経常的な一般財源収入に対して、人件費や公債費といった毎年必ず出ていく経常的に支出されるお金の割合がどのくらいになっているかを示す値です。この値が大きくなればなるほど自由に使えるお金が少ないということになります。

※**公債費負担比率**とは、公債費に充当した一般財源が、一般財源総額に対してどの程度の割合になっているかを示す指標です。この値が大きくなると、一般財源の使い道が制約されていることとなります。

各特別会計の町債（借入金）年度末残高の推移

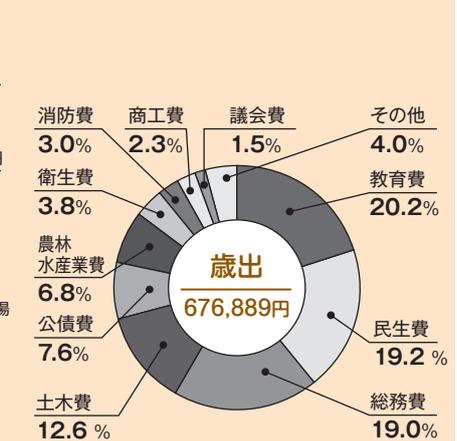
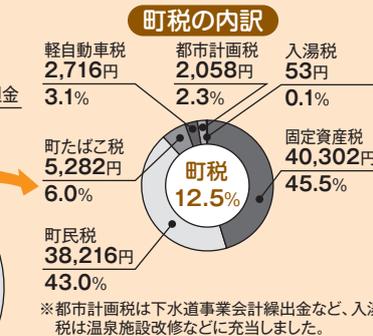
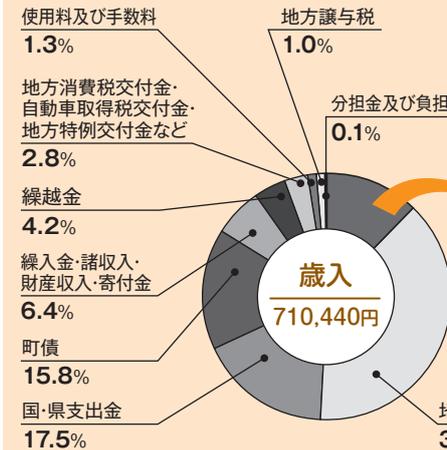
単位：万円

会計区分	25年度末	26年度末	27年度末
簡易水道事業特別会計	195	187	3,690
公共下水道事業特別会計	22億2,895	21億3,613	20億5,566
農業集落排水事業特別会計	2億9,455	2億7,652	2億6,049
水道事業会計	6億5,748	7億2,178	7億4,624
合計	31億8,293	31億3,630	30億9,929

町民一人当たりの歳入と歳出

町の人口 / 8,686人

（平成28年3月31日現在・住民基本台帳人口）



歳入	710,440円
町税	皆さんから納めていただいた税金 88,627円
地方交付税	団体の財源の不均衡を調整するため、国税として国が代わって徴収し、分配されたお金 272,650円
国・県支出金	町の事業に対し、国や県から交付されたお金 124,496円
町債	国や金融機関から借りたお金 112,192円
繰入金・諸収入・財産収入・寄付金	基金を取り崩したお金、町有地などを売却して得たお金、寄附をいただいたお金など 45,298円
繰越金	前年度から繰り越されたお金 30,465円
地方消費税交付金・自動車取得税交付金など	消費税の一部、自動車取得税の一部として県から交付されたお金など 20,010円
使用料及び手数料	施設や保育所の使用料、住民票をとるときの手数料など 9,185円
地方譲与税	国が徴収した自動車重量税などから分配されたお金 7,039円
分担金及び負担金	施設の入所費用など特定の利益を受ける方に負担していただいたお金 478円
町民一人あたりの町債残高（一般会計）	598,527円

歳出	676,889円
教育費	小・中学校や生涯学習、体育振興などの費用 136,921円
民生費	高齢者、障害者、児童など福祉の費用 129,964円
総務費	地域振興や徴収、戸籍、選挙などの費用 127,984円
土木費	道路、河川、公園の整備などの費用 85,137円
公債費	国や金融機関から借りたお金の返済費用 51,789円
農林水産業費	農業や林業の振興、土地改良事業などの費用 45,807円
衛生費	保健衛生やごみ処理などの費用 25,610円
消防費	消防や消火栓の整備などの費用 20,553円
商工費	商工業の振興や各種観光イベントなどの費用 15,371円
議会費	議会の費用 10,624円
その他	労働者に対する金融対策などの費用ほか 27,129円

の算定結果を報告します

◆実質赤字比率

※ 実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成26年度
	黒字	15.0%	20.0%	黒字

実質赤字額とは、支出を翌年度に繰り延べたり、翌年度の歳入を繰り上げて使ったりした額のことです。平成27年度は、282,230千円の黒字決算となりました。

◆連結実質赤字比率

連結実質赤字額の標準財政規模に対する割合	本町	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成26年度
	黒字	20.0%	30.0%	黒字

連結実質赤字額とは、一般会計や特別会計など町のすべての会計の実質赤字額(資金不足額)のことです。平成27年度は、いずれの会計とも赤字額が生じておらず、合計で677,735千円の黒字決算となりました。

◆実質公債費比率

実質公債費の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成26年度
	6.2%	9.4%	25.0%	35.0%	8.1%

実質公債費とは、町(一般会計など)が負担する公債費と補助金等を分割で負担するなどの債務負担行為などの公債費に準ずる支出のことです。比率は3か年の平均により算出しますが、内訳は、平成25年度…8.81354%、平成26年度…5.71246%、平成27年度…4.16284%となっています。

◆将来負担比率

将来負担額の標準財政規模に対する割合	本町	県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準	(参考) 平成26年度
	51.7%	65.7%	350.0%		33.4%

将来負担額とは、町(一般会計など)が将来にわたって負担すべき、町債、債務負担行為などのことです。また、町の貯金である基金などは、この負債から控除して計算されます。具体的な計算は、以下のとおりです。実質的な負債となる額8,673,780千円(A)、充当可能財源7,269,476千円(B)、標準財政規模(C)※、平成27年度の算入公債費等の額502,013千円(D) $(A-B) \div (C-D) = 51.7\%$

※…標準財政規模等とは、税收、地方譲与税、普通交付税などの用途を特定されない収入(一般財源)の標準とされる額で、平成27年度は、3,214,442千円となっています。

地方自治体財政の早期健全化や公営企業の経営健全化を図るため「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの健全化判断比率と、公営企業ごとの資金不足比率の算定と公表が義務付けられています。

このたび、平成27年度の算定をおこなったところ、指標はすべて基準を下回り、町の財政は健全性を確保できていることがわかりました。今回は、その概要をお知らせします。(より詳しい内容は、町ホームページで公表しています。)

議会

town council

9月定例会

大江町議会第3回定例会が、9月7日から15日までの会期で開かれました。

今定例会では平成27年度一般会計決算をはじめ、各会計の補正予算や人事案件などが審議され、原案どおり可決・承認されました。

冒頭に渡邊町長から行政報告がありましたので、その内容の一部を紹介します。

行政報告

左沢駅前公有地の活用

これまで、ホームセンターを展開する事業者と、左沢駅前公有地への出店に向けた話し合いを進めてきました。

出店にあたって、ホームセンターの店舗に生鮮食品を出していただけの町内業者がい

か、商工会や商店街の方々との協議を重ねてきましたが、出店できる業者を確保できなかったことや、ホームセンターが負担する使用料の設定などの条件が整わなかったため、合意に至りませんでした。

今後は町民アンケートを踏まえながら、商業施設以外の選択肢も含めて検討を仕切り直し、将来の方向性を示せるよう努力を重ねていきます。

人事案件

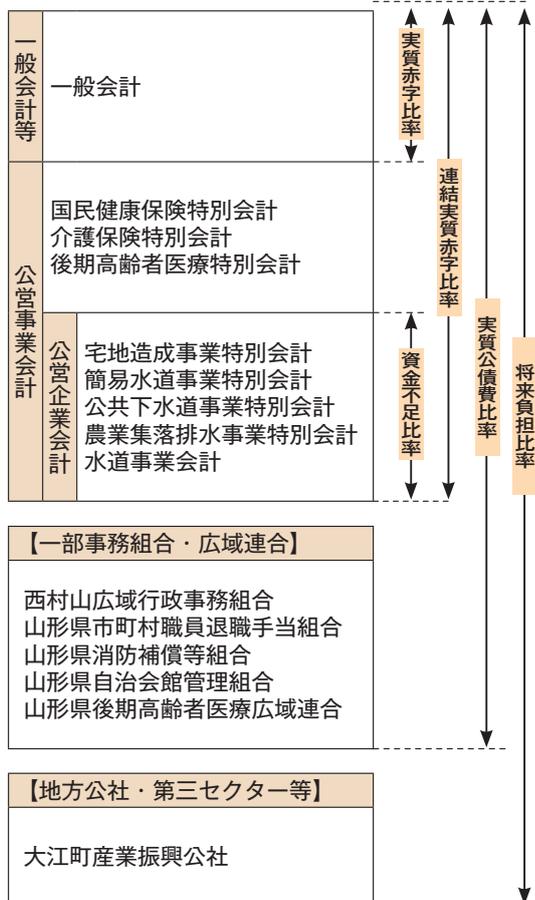
○教育委員会委員の任期満了に伴い、鈴木正洋氏(諏訪原)が再任されました。任期は平成32年9月までとなっています。

○10月7日に任期満了を迎える農業委員会委員について、今年4月1日から施行された改正法により、後任の委員は町長が議会の同意を得て任命することになりました。

新たな委員として、伊藤真人氏(小見)、明石永七氏(12区)、荒木由美氏(月布)、大泉晴稔氏(堂屋敷)、菊地敏美氏(深沢)、菊地美津雄氏(深沢)、公平友

平成27年度 財政健全化判断比率等

財政健全化判断比率等の対象範囲



◆資金不足比率

公営企業会計の名称	本町	経営健全化基準	事業規模(千円)
水道事業会計	—	20.0%	216,713
簡易水道事業特別会計	—	20.0%	1,503
公共下水道事業特別会計	—	20.0%	53,055
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%	6,530
宅地造成事業特別会計	—	20.0%	30,707

資金不足比率とは、公営企業ごとの資金の不足額が事業の規模に対してどの程度あるかを示すものです。平成27年度は、いずれの会計とも資金不足額が生じていません。

●●財政健全化法とは●●

財政健全化法とは、地方公共団体の財政破たんを未然に防ぐため、健全化判断比率により財政状況を把握し、悪化した団体に対して早期健全化を促すための法律です。これらの指標の基準には、外部監査などが義務付けられる「早期健全化基準」と破綻状態と見なされ事実上国の管理下に置かれる「財政再生基準」の2段階があり、いずれかの基準を超過すると、財政健全化計画または財政再生計画の策定などにより健全化を目指すこととなります。また、資金不足比率についても、早期健全化のレベルにあたる「経営健全化基準」に抵触すると、経営健全化計画の策定などの制約が加わることとなります。

●●大江町の指標のポイント●●

実質公債費比率は、平成27年度の元利償還金(地方債の借入金の返済金)が減少したことなどにより、前年度より1.9ポイントの改善となりました。

また、将来負担比率は前年度より18.3ポイントの増となっており、将来負担額となる地方債(借入金)現在高が増となったことが主な要因となっています。

町では今後も地方債の発行にあたっては慎重に進めながら財政の健全化に努めていきます。

農産物で町をPR



9月定例会最終日の9月15日、町のおいしい農産物をPRしようと、議場の発言台と各出席者の席上に町産の旬の果物や野菜などが飾られました。

この日飾られたのは、本町で生まれた新品種のすもも「光李」をはじめ、ももの「伊達白桃」、りんごの「昂林」^{ひかり}、「くろべえなす」の4種類。町の味覚に彩られた議場の様子は、インターネット中継でも放映されました。

補正予算

平成28年度一般会計補正予算(第3号)が原案どおり可決され、歳入歳出にそれぞれ3億2190万円を追加し、予算総額は55億4190万円となりました。

主な歳出予算は、総務費として、財政調整基金やふるさと町づくり寄付に関連する費用、奨学金の返還支援のための県若者定着支援基金など、1億6728万円。民生費として、わかば保育園の増築部分の工事費など、1億4611万円。商工費として、テルメ柏陵健康温泉館の内装修繕料など125万円。土木費として、町道藤田堂屋敷線の改良工事費や、ガードレール設置工事費など、662万円。災害復旧費として、町道3路線の復旧工事費600万円などとなっています。



①



②



③



④



⑤

- ①藤田若宮八幡神社神輿
- ②7区囃子屋台
- ③8区女相撲甚句
- ④おかみさんソーラン愛好会
- ⑤9区尚和会神輿
- ⑥八幡神社神輿
- ⑦御免町囃子座
- ⑧左沢獅子踊
- ⑨MOVERヒップホップダンス

雨でも気分は「晴れ」の舞台!

秋の恒例行事である「大江の秋まつり」が9月18日におこなわれ、神輿や囃子屋台などの地域の伝統芸能が町内各地を練り歩きました。

左沢駅前広場で開かれたパレードでは、各団体が一堂に集結。情緒あふれる祭囃子や躍動感に満ちたパフォーマンスを披露し、町内外から訪れた来場者からは大きな拍手が沸き起こっていました。



⑥



7



8



9



■安心安全な町づくりを誓う ～交通安全町民大会～

町民1人ひとりが交通安全を誓い、交通事故防止の意識高揚と飲酒運転の撲滅を図るための交通安全町民大会が、9月4日に町民ふれあい会館で開催されました。この大会には、交通安全協会をはじめ町内で交通安全活動に携わっている関係者のほか、一般の参加者を合わせて約400名が参加。大会では左沢高校の生活委員が決意表明をし、各団体がこれまでの活動について発表をおこないました。

今年は、全日本吹奏楽コンクール山形県大会に2年連続で出場を果たした大江中学校吹奏楽部の生徒たちが初めて参加。コンクールの課題曲など5曲の演奏と合唱を披露し、町内の幼稚園児・保育園児と山形県警察のマスコットキャラクター「カモンくん」などが踊る交通安全マーチの演奏も担当しました。

また、消防署大江分署の署員とご当地ヒーロー「憑身シェイガー」が寸劇を演じ、事故で負傷者が出たときの対応方法や、AED（自動体外式除細動器）の使い方について参加者に紹介しました。



▲園児たちとカモンくん、シェイガーによる交通安全マーチ



▲渡邊町長から激励金を受け取る奥山晃美さん（写真中央）と、トータルヘアカメトコの松田通さん（写真左）

■地元大会で躍進に期待 ～各種技能全国大会等出場激励金～

今年、山形県で開催される第54回技能五輪全国大会に、トータルヘアカメトコの奥山晃美さんが出場することになり、9月15日に渡邊町長から激励金が手渡されました。町では、各種技能全国大会や国際大会に出場する方と、所属する団体や事業所に激励金を交付し、技術者の育成を応援しています。

奥山さんは三川町出身で、今年4月からトータルヘアカメトコで住み込みで働いています。10月22日から山辺町でおこなわれる理容部門に出場予定の奥山さんは「まだまだ分からないことも多いですが、自分の個性を出して入賞したいです」と、抱負を話されました。

■明らかになる山城の姿 ～左沢楯山城跡発掘調査現地説明会～

国の史跡である左沢楯山城跡の発掘調査の現地説明会が、9月25日におこなわれました。町では平成23年度から城跡の保存整備を目的とした発掘調査を進めており、今年度は城道の可能性のある登り道や、掘立柱の建物跡などの調査を実施し、山城の建てられた当時の状況が徐々に明らかになっています。

この説明会には、町内外から約50名が参加。実際に発掘現場に足を運んで、建物があつた跡や出土品などを見学し、山形考古学会会長で調査指導者の佐藤庄一さんの解説に熱心に耳を傾けていました。



▲最上川に面する斜面にあつた建物跡

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々を紹介します

第32回
全国小学生陸上競技交流大会
6年女子100メートル 第7位



左沢小学校6年
笹川愛琉さん(蛍水)



▲全国大会で渾身の走りを見せた笹川さん
(写真提供：フォトクリエイト)

8月20日に神奈川県の日産スタジアムで開催された第32回全国小学生陸上競技交流大会に、左沢小学校6年生の笹川愛琉さんが出場。6年女子100メートルで見事第7位に入賞する快挙を達成しました。

7月18日におこなわれた県大会の予選で、笹川さんは13秒18のタイムを刻んで大会記録を塗り替え、決勝でも追い風参考記録ながら13秒07という素晴らしいタイムをマーク。昨年惜しくも逃した念願の全国大会への切符を手に入れました。

そして1カ月後に迎えた大会本番。各都道府県のトップの選手がひしめく中、予選を2位で通過したものの、県大会までと

は違つて準決勝を勝ち残らなければ決勝に進めないため、準決勝のスタートでは今までに経験したことがないほどの重圧を感じたそうです。

「同級生みんなが大きな垂れ幕に激励のメッセージを書いてくれて、たくさん勇気をもらいました。同じくらいプレッシャーにもなりましたけど(笑)」

その甲斐あって、好タイムで無事に決勝進出を果たしました。目標にしていた全国大会決勝のスタートを迎えた時の心境は、「全然緊張しませんでした(笑)」とのこと。

決勝では、得意としているスタート直後につまずくというアクシデントに見舞われながらも、

後半では猛然と追い上げ、見事に7位入賞を果たしました。

これまで、課題だったレース後半のスピードとスタミナを強化するために、長い距離や坂道を走り、フォームの改善にも取り組んできた笹川さん。以前は緊張していたレース前も、今ではスタートラインに立つのが楽しいといえます。目標としている選手は、あのウサイン・ボルト選手。同じ色のスパイクを履くなど、強く影響を受けているようです。

将来は警察官になりたいという笹川さんですが、これからもできる限り陸上競技を続けていきたいそうです。今後のさらなる活躍が期待されます。

第71回山形県総合美術展(敬称略)

〔入選〕

日本画

〔錦秋〕

〔夢に向つて〕

〔委嘱〕

彫刻

〔花笠祭り〕

五十嵐藤一郎(富沢)

川村 秀子(4区)

鴨田 徳康(1区)

第58回こども県展(敬称略)

〔奨励賞〕

「ゆつたりチーノ」

田宮 夏葵(本郷東小4年)

〔入選・園児〕

(大江幼稚園)

齋藤 蒼介

古郡 幸音

村上 優絃

〔わかば保育園〕

荒木 健都

鈴木 希花

鈴木 泰成

清野 羽玖

〔さくら保育園〕

伊藤 颯

清野 蔵

伊藤 音々

後藤 凜子

五十嵐 覚

〔入選・小学生〕

松田 蒼生(左沢小5年)

清野 遥斗(左沢小5年)

佐竹 叶夢(左沢小5年)

田中利穂菜(本郷東小2年)

伏貫 珠生(本郷東小5年)

〔入選・中学生〕

結城 智典(大江中2年)

東海林真奈(大江中3年)





▲左沢小大運動会・騎馬戦



▲本郷東小連合大運動会・大玉送り

9/3 競技も応援も白熱！

見事な秋晴れの空が広がった9月3日、町立小学校の運動会が開催され、各学校の全校児童が紅白両軍に分かれて、各種競技で熱戦を繰り広げました。

左沢小学校では大会新記録が生まれるなど、児童たちは各競技で真剣勝負を展開。額にくくり付けた札を取り合う騎馬戦など、団体競技では両軍ともに力を合わせ、練習から培ってきた団結力を発揮しました。また、保護者や未就学児童などが参加する競技もあり、世代を超えて楽しめる運動会となりました。

本郷東小学校では、各学年の保護者とOB、職員によるチーム対抗の「レインボー宅急便」や、学区内の各地区対抗のまり入れなど、保護者や地区民の皆さんも多数参加して運動会を盛り上げました。また応援合戦では、紅白両軍とも替え歌やウェーブなど演出に工夫を凝らし、喉がかわるまで声を張り上げて、気迫のこもった応援を披露しました。



9/15 ハーブで香り高い健康料理

アロマとハーブを使って心と体を健康にする方法を学ぶ「アロマの講座」が、9月15日に中央公民館で開かれました。この講座は、カフェ・ウーピーの古熊文代さん（若原）を講師に迎え、今年は3回にわたって開講されます。

初回の講座となったこの日は、各種ハーブの香りを生かした料理に挑戦。塩分控えめのオイルサーディンなど、おいしくて健康に良い料理の作り方を学びました。その後、参加者はひきたてのコーヒーやハーブティーの香りを楽しみながら、できあがった料理をおいしく味わっていました。



9/6 にぎやかに味わう なす給食

「くろべえなすの日」である9月6日、大江茄子部会から町内の小中学校と保育園に、合わせて36.5kgのくろべえなすが給食用として提供されました。

この日、本郷東小学校では給食交流会が開かれ、大江茄子部会青年部から児童代表の6年生・東海林大雅さん（下モ原）にくろべえなすが手渡されました。その後、全校児童と生産者などが一緒にテーブルを囲み、旬のくろべえなすの食感を生かした「なすの薬味ソース」などのメニューを味わいました。



▲大江中と逢隈中の女子バレーボール部練習試合

9/3 震災の記憶を共有する新しい絆

宮城県亘理町立逢隈中学校と大江中学校の部活動交流会が、9月3日に逢隈中学校で開かれました。この交流会は、被災地復興の願いを再確認するとともに、地区新人総体に向けて競技力向上を図るために今年初めて実施され、5つの部活動の部員57人が参加。生徒たちはスクールバスで亘理町を訪問し、逢隈中の生徒と練習試合や昼食交流会を通じて交流を深めました。

その後、大江中の生徒たちは亘理駅前の悠里館を訪れ、現地の震災語り部の方々から震災当時のお話を聞きました。軟式野球部の兼子拓丸さん（8区）は「被災した皆さんのためにも、これからも決して震災のことを忘れず、日々の学習や部活に励みたいです」と感想を話していました。



9/24 身近な自然の恵みに感謝

緑豊かな森の恵みに感謝し、住民参加による森づくりを推進する「村山地域森の感謝祭」が、9月24日に大山自然公園で開催されました。この感謝祭は、県や森林組合などが主体となって村山地域の各市町村を会場に毎年開かれているもので、この日は緑の少年団や町内の林業関係者、住民の方々が多数参加しました。

式典ではアトラクションや林業功労者表彰がおこなわれ、その後参加者は森づくり活動として、病害虫の被害木を活用して散策路の木質チップ敷きがおこなわれました。



9/11 力を合わせて大掃除

左沢地区の住民の皆さんによる市街地の一斉清掃が、9月11日におこなわれました。この一斉清掃は3年ごとに実施しているもので、地区民のほか消防団自動車分団と第1分団、建設クラブ、町などが協力し合い、3区から10区までの道路側溝を清掃。住民の皆さんは朝早くからスコップを持って集まり、地区内の側溝にたまった泥などを協力してすくい上げ、消防団の放水によって側溝内を洗い流していきました。

この日は朝から順次各地区の側溝清掃がおこなわれ、夕方には全地区の清掃が終了しました。

「こすずろ」は本当にやっかいなアブだ。車が好きなようで、窓を開けようものなら、わんさと入ってくる。夏の風物詩と思えば、と友人は大きく構えているけれど、山の中で、きれいな河の流れを聞きながら、梅干し茶で、できたての「ゆかりおにぎり」の楽しい時間は、クーラーを効かせた車の中で、ということになる。少々どころかかなり口惜しい。たかがアブ、されどアブだ。

露天風呂に入った瞬間、顔の周りに2、3匹がグルグル、目の前は見えるけれど、頭の後ろやてっぺんは手で追っ払うしかない。こすずろもアタクできないほどのふさふさの分厚い髪は、もうない。たかがアブに核ミサイルか、オスプレイか、はたまた化学兵器か。「夏の友人」こすずろ腰しる「伊予白帯アブ」と一緒に名湯を楽しむ秘策はないか？ その時、朝日岳の山のほうから確かに聞こえた、万物を大切にす山の守護神の声が。「あなたの今日のタオルは結構分厚いじゃございませんか。頭の周辺でアブがごちゃごちゃぶんぶんのようですが、ほっかむりしてみたらいかでございますか。眉毛あたりから首元まですっぽりと『ほっかむり』をし、お湯の香りを楽しむように片手をゆっくりと顔の前で左右に動かしてみてください」効果抜群の極みだ。

露天風呂、たかがアブだから、ほっかむりは通用した。人間社会で、常時ほっかむりは通用しない。宿題、課題、問題、ごちゃごちゃぶんぶんの社会は正常ではない。いろいろあつていい。こすずろ相手のほっかむりを楽しみながら、一歩前にだ。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.37 (最終回)

左沢前田地区は、かつては水田が広がっている土地でした。しかし、大正11年に左沢駅が開業したことによって、それまで全く建物のなかった駅前から法界寺までが新しい街並の軸となり（写真上）、横町へ至る道路も建設されました。道沿いには旅館や飲食店が立ち並ぶようになり、さらには劇場も開業。こうして駅を中心とした街並みが形づくられていきました。左沢線の開通によって、産物の輸送の手段は最上川舟運から鉄道へと移行し、こうした流通・往来の変化が町場の形成に大きな影響を与えました。

戦後、旧最上橋と駅を結ぶ道路（写真下）が建設されると、駅から東に向けて放射状に広がる街並みが形成されました。城下町と舟運の町から近代以降の大きな変化を経て、現在の左沢の景観ができあがったといえます。



近代化により形成された街並

● 短歌 ●

同期会写真届きて懐しく面影捜ししばし見詰めん

菅井 妙子

赤とんぼ空高く舞う秋の日は刻移り行く季節の早さ

松田 靄

男爵もメイクインも北明りも薄紫の道東の旅

山家 重之

萩の花風にゆらめき咲き誇り重ねし年の長さ知るなり

長岡かつ子

もの溢れ大型店は客を呼び仕舞屋めだつ古き街並

菊地つねよ

わが友の作りし句集「山笑ふ」辞書を片手に暑き日によむ

斎藤 徳治

● 俳句 ●

空晴れて黄金の稲穂頭たれ

菅井 妙子

音果てて太鼓の音する祭り来し

鴨田富士夫

山々の風の音あり芒原

松田 靄

名月や最上川へといそぎあし

阿部 一風

いわし雲大鳥池をさかのぼる

今井 茂樹

提灯を尋ねて歩く秋祭

山家 重之

溪流に足ひたしをり夏終る

金子脩一郎

玉の数かぞへる声や運動会

清野今日子

一日の妻の入院秋の朝

熊谷 勉

満目に闇を広げてちちる虫

舟山 三男

山城の堀切にゐる 籠馬

伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

※このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日(必着)まで役場総務課に作品をお寄せください。



小さい頃から絵を描くのが好きだったという菊地さんは、高校生の時に美術部に所属し、村山美術展に作品を出品して見事金賞を受賞したそうです。生き物が好きだということもあって、昆虫などを題材に油絵や水彩画を描くことが多いとのこと。現在でも、休日など時間がある時には絵を描いているそうです。

「小学生の頃から、マンガを模写して友達に見せたりしていました。生き物は躍動感があるので、描くのが面白いです。迫力のある絵にするために、自分なりにアレンジを加えていくのが楽しいですね」

電子部品を製造している会社に就職して2年目の菊地さん。体力が必要な仕事ですが、徐々に慣れてきた今はさらなるスキルアップを目指して頑張っています。「自分1人だけで仕事をするのではなく、人とのふれあいを大切にしながら、仕事を最後までやり通せるようになりたいです」と、今後の目標を力強く話してくれました。

菊地 丈一郎さん
(20歳・1区)

キャンパスに描く躍動感

地域おこし協力隊通信 No.27



この夏、「やまさあーべ」で一番人気だった体験プログラムは月布川でのリバートレッキングでした。川の中を上流に向かって1~2km歩く体験です。流れの速い場所で転ばないように川を渡ったり、時には淵を泳いで進んだり。そして、

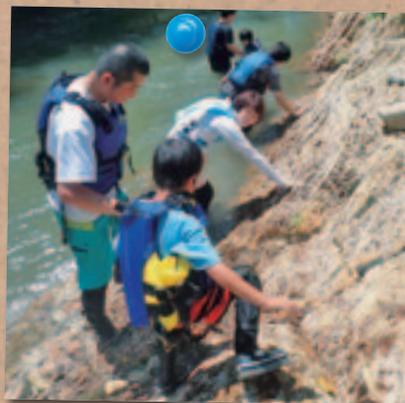
その道中で魚やカエルや草花を観察します。

多くの場合、道路から川に降りやすい場所は防災のためコンクリートで護岸されています。でも、そこから100mも移動すると、道路や民家からは遠のいて、護岸のない美しい自然が出てきます。じゃあ、移動そのものを楽しんでもらおう！ その願いどおり、お客様は道路から見ているのとは全く違う川の光景に感動し、ちょっとした冒険気分を味わうことができたようです。

でも、よくよく考えてみると、この体験は渓流釣りをする人ならいつも当たり前のようにやっていること。そこにエンターテインメント性や動植物のガイドをちょっと肉付けしただけです。やはり、大江町では「当たり前」なものの中にこそ、エコツーリズムのネタが隠れているようです。

地域おこし協力隊 佐々木隆馬

↑岩を登るの子どももどきどきしては大冒険です



↑安全第一。ライフジャケットやマリンブーツなど装備が重要です。

お知らせ

Information

特定建設工事共同企業体の申請について

平成28年度大江町立わかば保育園増築工事に伴い、特定建設工事共同企業体の申請を受け付けます。

詳細につきましては、町のホームページをご覧ください。

☎ 健康福祉課子育て支援係(62) 2285

大江町雇用促進助成金のご案内

町では、雇用の確保と産業の振興を図ることを目的に、新たに従業員を正規雇用した町内の事業主に助成金を交付します。また、雇用する従業員が新規学卒者である場合は、従業員本人にも助成金を交付します。

◆助成対象者／

【事業所助成金】町内に住所を有する者を正規の従業員として雇用した事業所に対して助成金を交付。当該事業所に非正規で雇用していた従業員を正規雇用した場合も対象となりますが、他事業所からの転職の場合は

対象としません。

【新規学卒者助成金】町内に住所を有する新規学卒者が、事業所に正規の従業員として就職した場合、新規学卒者本人に対して助成金を交付。

◆助成金額／いずれの助成金も従業員1人あたり10万円

◆交付要件／

【事業所助成金】平成26年4月1日から平成29年3月31日までの間に雇用を開始し、6カ月以上雇用した場合。

【新規学卒者助成金】平成26年4月1日から平成29年3月31日までの間に就労し、6カ月以上就労した場合。※いずれの助成金も雇用・就労開始から6カ月経過後に申請書類を提出していただきます。

☎ 政策推進課起業推進係(62) 2139

一般介護予防事業

「お達者教室」を開催します

65歳以上の方を対象に、簡単な体操や認知症予防のレクリエーションなどをおこなう健康教室を開催します。ぜひご参加ください。

◆日時／10月26日(水) 13時半～14時半 ※13時から健康相談

◆募集人数／30人程度

婚活イベント

恋する林間学校



小学校をリノベーションした宿泊施設「やまさあーべ」で、林間学校体験を通して素敵な出会いを見つけませんか。秋の紅葉はもちろん、キャンプファイヤーなどが楽しめます。課外授業では縁結びのパワースポットにもお出掛けします。

- ◆日時／10月29日～30日(1泊2日)
- ◆場所／山里交流館やまさあーべ
- ◆対象・人数／25歳から40歳までの男女各16名・ペア参加(男女共に2名単位で申し込み受付)
- ◆参加費用／男性1万円・女性8千円
※公共交通機関利用の女性に限り交通費を2千円から1万2千円まで片道負担します。
- ◆募集締切／定員になり次第終了
- ◆企画者／を結び隊(大江町商工会青年部・役場職員有志)
- ◆後援／大江町、大江町商工会
- ☎ 大江町商工会 ☎(62) 4128

- ◆内容／軽体操(軽スポーツ)
- ◆講師／大江スポーツクラブ OISS
- TEP 指導員

◆場所／保健センター

※動きやすい服装で、水分補給用の飲み物を持参して参加してください。なお、会場までの送迎バスはありません。

☎ 地域包括支援センター(健康福祉課内) ☎(62) 2114

おえハロウィンパーティー 〜みんな仮装して集まれ！〜

◆日時／10月23日(日) 14時～16時

◆場所／中央公民館

◆内容／トリックオアトリート！(お菓子をもらおう)、ハロウィンゲーム、仮装コンテストなど

◆参加費／500円(3歳以下、付き添いの保護者の方、会員は無料)

大江町商売繁盛創出
支援事業補助金のご案内



新たに商売を
始めたい方を
支援しています!

町では、新たに商売を始めたい方や新商品開発をしたい事業者などを支援するため、補助金を交付しています。創業計画の策定などについても、大江町商工会等創業支援機関と連携して対応します。

また、商売や各種事業に活用できる空き家を所有している方は、情報をお寄せください。空き家・空き地情報提供制度へご登録いただいた場合は、空き家を借りたい方へ情報提供しています。

◆補助対象経費

補助対象事業の実施に必要と認められる経費
(専門家謝金、デザイン料、賃借料、使用料、備品購入費、
原材料購入費、試作費、施設整備費、広告宣伝費など)

◆補助対象事業および補助率、補助限度額

- ①起業・6次産業化支援事業
…補助率2/3 (上限50万円)
- ②新商品開発支援事業
…補助率1/2 (上限20万円)
- ③連携共同支援事業…補助率1/2 (上限20万円)

※複数の事業者が連携して販売促進に取り組む場合
※空き家を改修する場合も、改修費に対して補助金を交付しています。

問政策推進課

起業推進係 ☎(62) 2139 (商売繁盛創出支援事業補助金)
総合戦略推進係 ☎(62) 2118 (空き家・空き地情報提供制度)

- ◆定員/60名程度
- ◆条件/必ず仮装をしてくること
(亡霊たちの機嫌が悪くなってしまう)
◆持ち物/お菓子を入れる袋
- ◆申込締切/10月17日(月)
- ◆申込先/おおえ国際交流協会事務局(役場政策推進課内)
- 問政策推進課政策推進係 ☎(62) 2118

税務署からのお知らせ

国税に関する相談で、具体的書類や事実関係を確認する必要がある場合、または税金の納付相談などで税務署にお越しになる際は、あらかじめ電話などにより相談日時の予約をお願いします。
※予約の際には、住所・氏名・相談

メール配信サービス
で町の情報をお届けしています。

ご登録は
こちらから↓



内容などをお伺いします。
問寒河江税務署 ☎(86) 2244
(音声案内で『2』番を選択してください)

編集
後記

各地区のお祭りを「聴く」ことができて、本当に良かったです。
(伊藤智治)

四分音符、ト音記号、シャープ、アクセント……「楽譜」と聞くと、5本の直線の上に並んだ何やら難しいな記号の羅列が思い浮かびます。楽譜には音程やリズムはもちろん、テンポの変化や音の強弱まで厳密に記されていますが、これはあくまで「西洋音楽」の楽譜。世界各地に民族音楽があるわけですから、楽譜だってさまざまです。
というわけで、秋まつりでお馴染み、祭囃子の笛の楽譜を見てみると……運指と掛け声を書いてあるだけの、非常にシンプルなもの。テンポやリズムは稽古などで伝えられるので、具体的な指定はありません。それでいて、祭囃子の調べは一つにそろい、情感たっぷりの「音楽」として聴く者の心を打ちます。祭囃子は日本各地にあります。強弱や「間」の取り方は地域それぞれ。町内に響きわたる祭りの調べは、紛れもなく「ここにしかない」音楽です。秋まつりの日は朝から雨が降っていましたが、駅前パレードの時間帯は不思議とやんでいました。神輿の担ぎ手の威勢の良い掛け声。脈動するような太鼓のリズム。今年も各地区のお祭りを「聴く」ことができて、本当に良かったです。
(伊藤智治)

思い出の

まいぞうひん

My蔵品

皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲高さ約40センチメートルの手作りの「島台」

◀松の木の上に止まる鶴。羽や足など細かい部分まで丁寧に作られています

昭和9年、私の祖父母が結婚した時に、お祝いとして河北町の方から頂いた手作りの品です。婚礼などの際に飾られた「島台」と呼ばれるもので、松竹梅に鶴と亀といった縁起物が、わらの内部の細かい部分だけを使って編まれています。

戦争が始まると蔵の中にしまわれ、しばらくそのままになっていましたが、今から40年ほど前に祖母が「思い出の品だから」と蔵から出し、それからはケースに収めた状態ですと飾っています。80年以上経って色は変わっていますが、松の木の上に巣を作る鶴など、細部まで作り込まれている様子は今見ても見事だと思います。

(下北山 菊地一郎)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？ 懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

8月21日～9月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
若原	石山 薫 ^{かおる}	男	明典・早苗
小見	伊藤 幸成 ^{こうせい}	男	貢・彩
富沢	柏倉 隼人 ^{はやと}	男	哲郎・千章
貫見	庄司 麻那 ^{まな}	女	琢郎・千夏

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	公平 豊志	(87)
下北山	高橋おふみ	(95)
荻野	鈴木 豊治	(86)
9区	伊藤 藤兵衛	(92)
9区	本田 隆	(89)
下北山	大場 孝子	(71)
9区	工藤 一	(88)
9区	松田テルノ	(84)
深沢	鈴木勝太郎	(86)
9区	戸田 孝	(68)
9区	田村千恵子	(96)



人口と世帯(前月比)

町の人口	8,629人(-1)
男	4,262人(-1)
女	4,367人(±0)
世帯数	2,924戸(+1)

平成28年10月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。